

令和3年12月9日

四万十町長 中尾 博憲 様

四万十町総合振興計画審議会
会長 八木 雅昭

第2次四万十町総合振興計画後期基本計画（案）について（答申）

令和3年8月10日付けで諮問のあった「第2次四万十町総合振興計画後期基本計画（案）」について、下記のとおり答申します。

計画の決定にあたりましては、第2期四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げられた施策と一体的に推進されるとともに、決定後は下記の事項に配慮され、まちの将来像として示す「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現に向けて実行性のある計画の推進に努められるよう要望いたします。

記

1 With コロナにおける施策の推進

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、深刻な打撃を受けた事業者や町民の暮らしを守るため、感染症対策と地域経済の活性化の両面に対する施策を推進されたい。

2 SDGsの推進

持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの積極的な普及啓発を行うとともに、本町の魅力である四万十川の保全と活用に一層取り組まれ、四万十川流域の自然と共生するまちづくりを推進されたい。

3 持続可能な地域づくりの推進

第2期四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、産業振興による雇用の創出をはじめ、移住定住施策や子育て環境の充実など、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進に一層努められたい。

また、その一方で将来にわたり人口減少が避けられない状況であることも踏まえ、人口減少社会の中でも町民が豊かな暮らしを持続していけるためのきめ細かい施策についても推進されたい。

4 協働のまちづくりの推進

本計画が町民に広く理解され、町民や地域で活動する団体等の参画を得ながら計画の推進ができるよう、町政に関する情報発信に一層努められるとともに、町民が幅広い分野において町政へ参画することができる機会の創出にも努められたい。また、本計画をより実効性の高いものとしていくため、進捗管理にあたっては、PDCA（「計画」「実施」「評価」「改善」）サイクルによる計画の推進に取り組まれたい。

5 デジタル化の推進

新型コロナウイルス感染症への対策としての、人流の抑制などを踏まえ、リモートワークなどのデジタル技術の活用を一層推進し、あらゆる分野における町民生活の利便性向上に取り組まれたい。

6 多様性の尊重及び共生社会の実現

様々な価値観や違いを認め合い、お互いの人権を尊重し合うとともに、誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて努められたい。